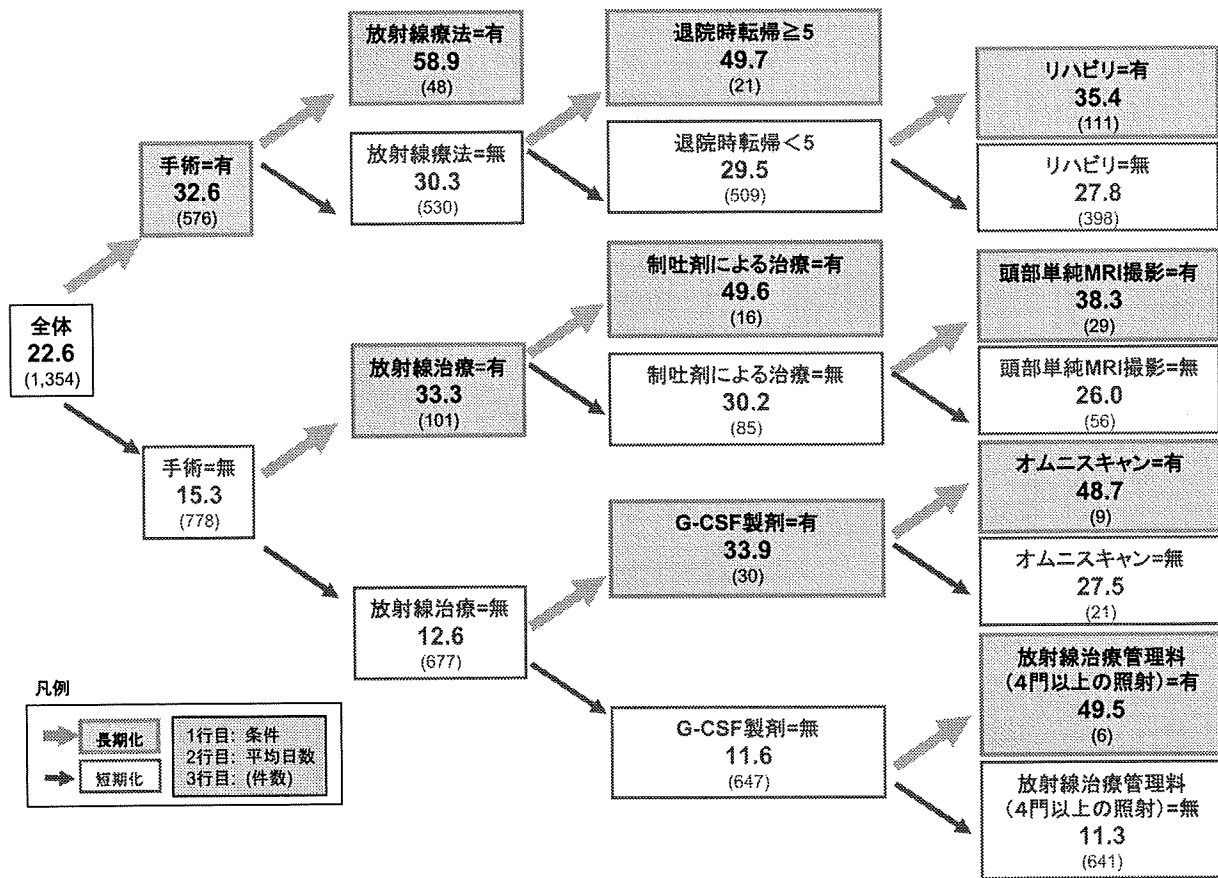


DPC6=010010 脳腫瘍 在院日数 回帰木分析



DPC6=010010 脳腫瘍 在院日数 回帰木分析

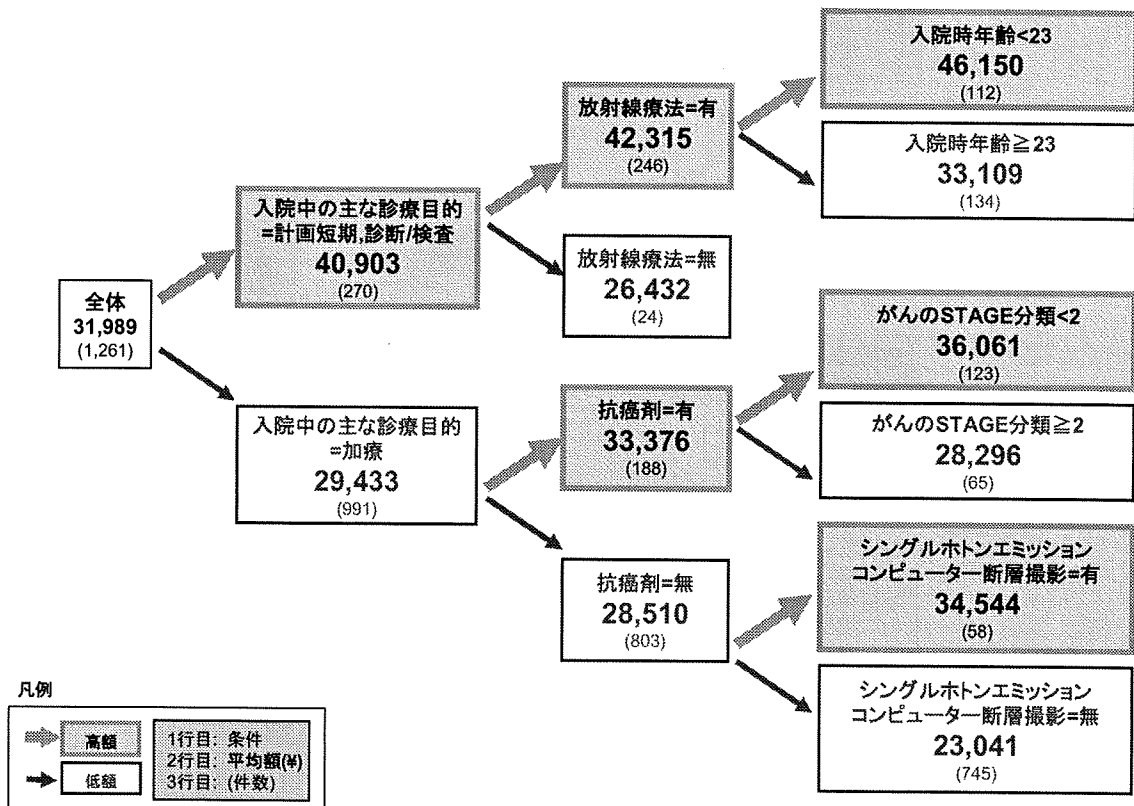
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術=有
- 放射線療法=有
- 退院時転帰 ≥ 5 (*)
- 制吐剤による治療=有
- G-CSF製剤=有
- リハビリ=有
- 頭部単純MRI撮影=有
- オムニスキャン=有
- 放射線治療管理料(4門以上の照射)=有

(*) 退院時転帰
 1 : 治癒
 2 : 軽快
 3 : 寛解
 4 : 不変
 5 : 増悪
 6 : 死亡
 7 : その他死亡
 9 : その他

DPC6=010010 脳腫瘍 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=010010 脳腫瘍 出来高換算額/日 回帰木分析

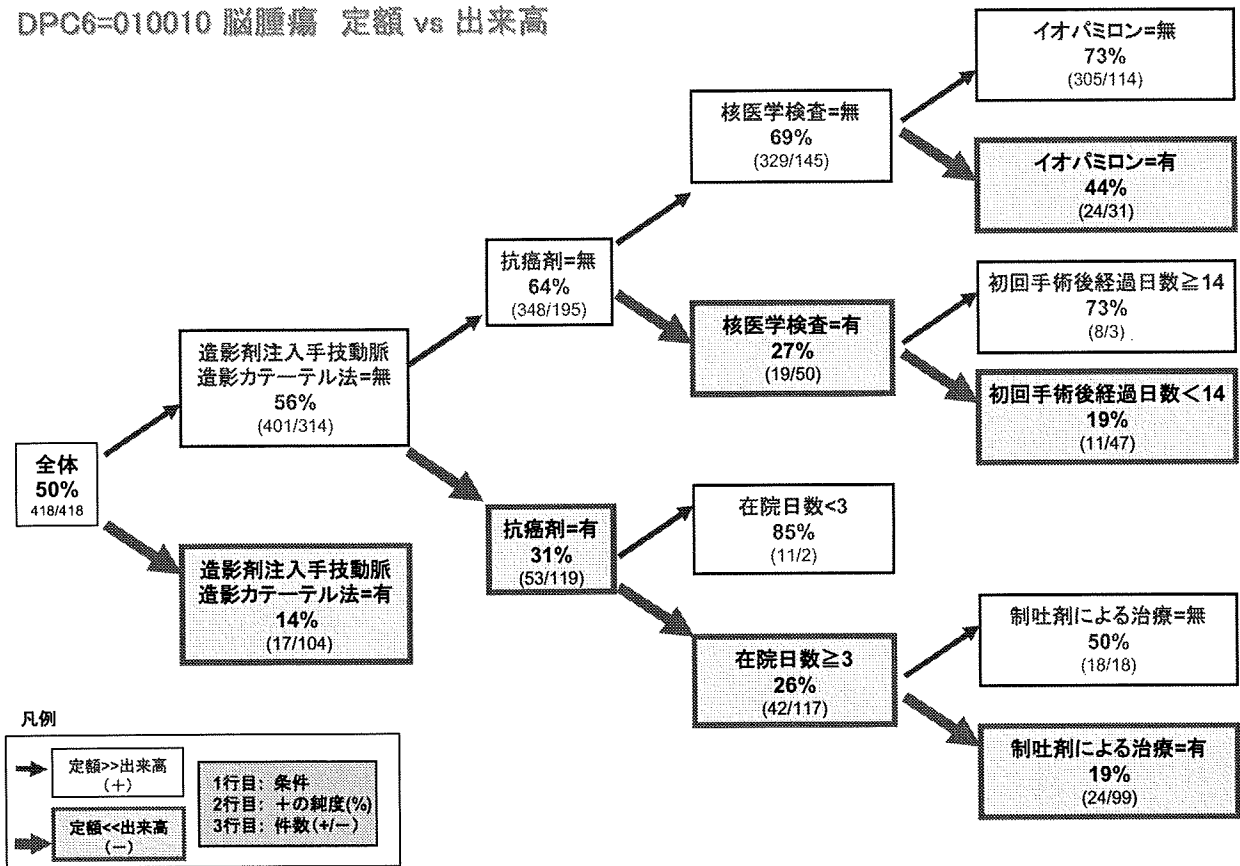
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の変化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 入院中の主な診療目的=計画短期,診断/検査
- 放射線療法=有
- 抗癌剤=有
- 入院時年齢<23
- がんのSTAGE分類<2
- シングルホトンエミッションコンピュータ断層撮影=有

(*) 退院時転帰
 1 : 治癒
 2 : 軽快
 3 : 寛解
 4 : 不変
 5 : 増悪
 6 : 死亡
 7 : その他死亡
 9 : その他

DPC6=010010 脳腫瘍 定額 vs 出来高



DPC6=010010 脳腫瘍 定額 vs 出来高

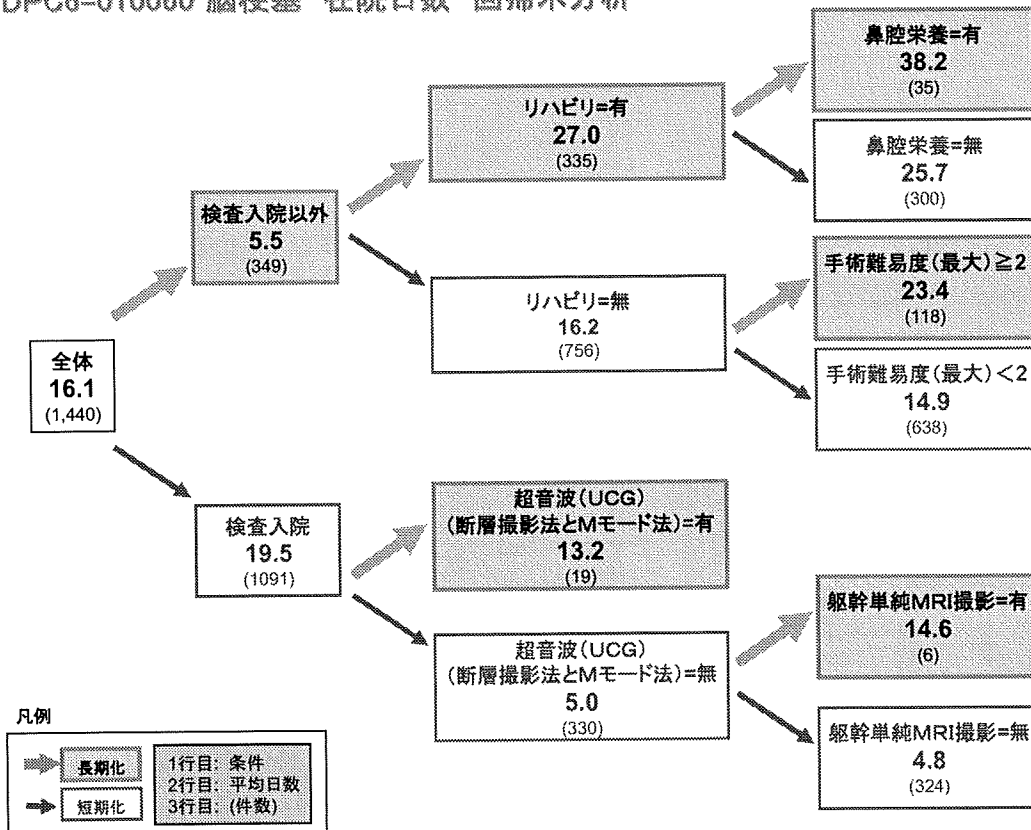
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- 造影剤注入手技動脈造影カテーテル法=有
- 核医学検査=有
- 在院日数 ≥ 3
- 初回手術後経過日数 < 14
- 制吐剤による治療=有

DPC6=010060 腦梗塞

DPC6=010060 脳梗塞 在院日数 回帰木分析



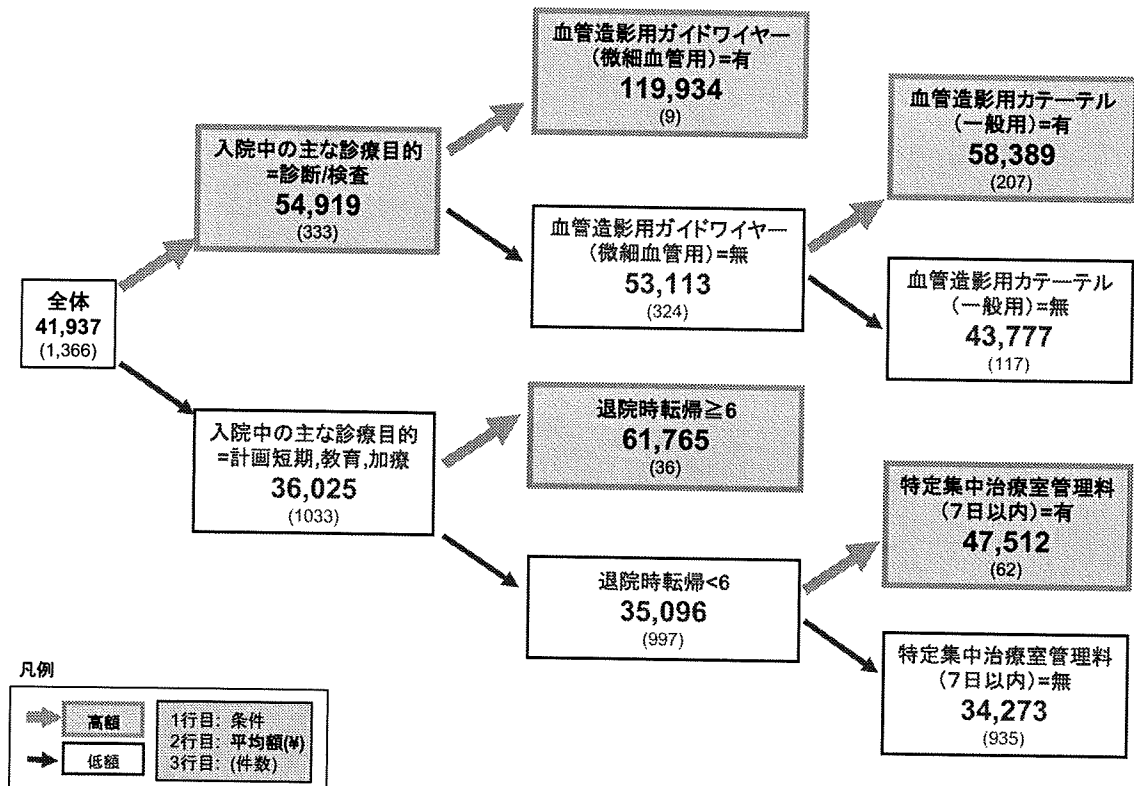
DPC6=010060 脳梗塞 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 検査入院以外
- リハビリ=有
- 超音波(UCG) (断層撮影法とMモード法)=有
- 鼻腔栄養=有
- 手術難易度(最大) ≥ 2
- 躯幹単純MRI撮影=有

DPC6=010060 脳梗塞 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=010060 脳梗塞 出来高換算額/日 回帰木分析

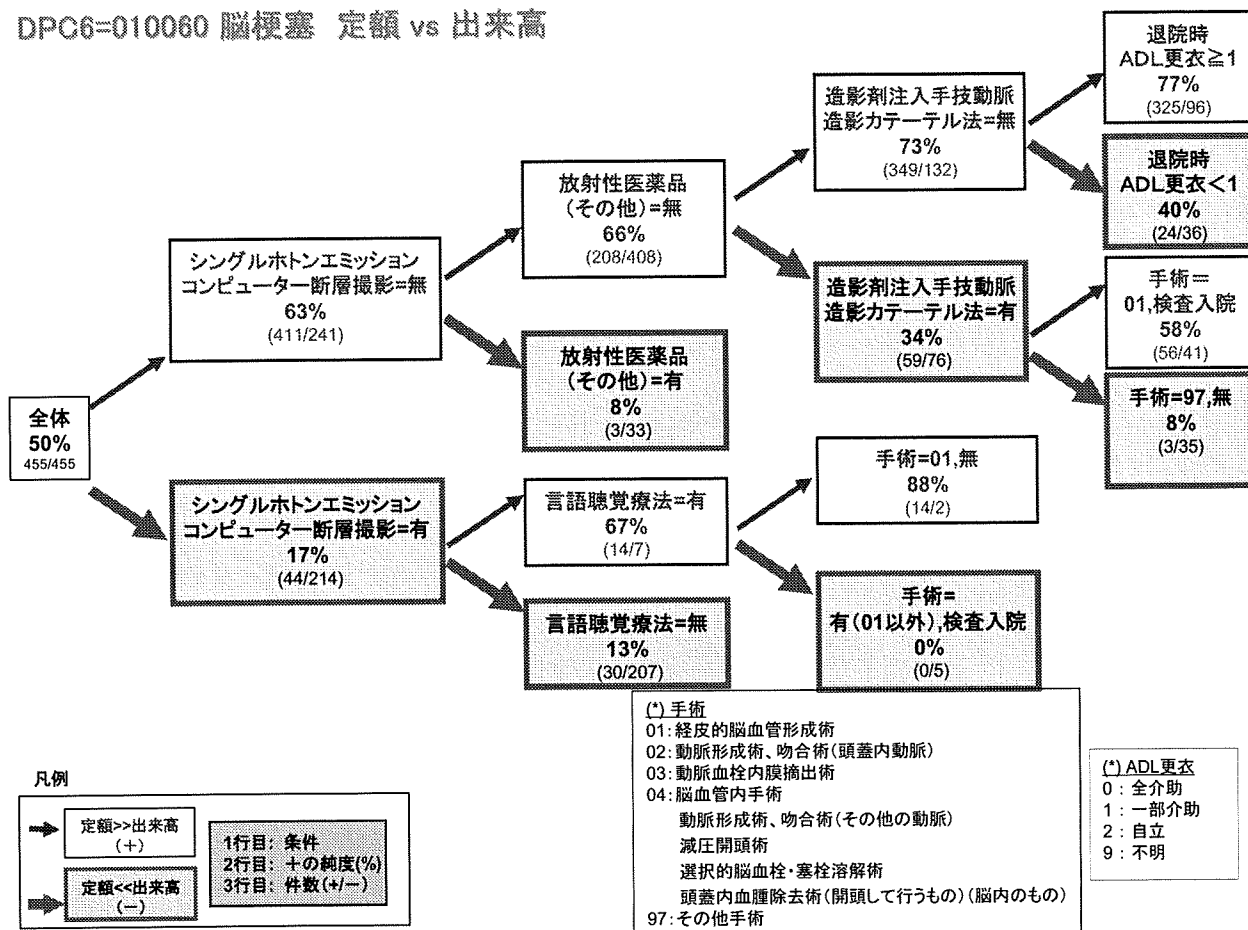
出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

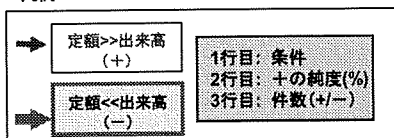
- 入院中の主な診療目的=診断/検査
- 血管造影用ガイドワイヤー(微細血管用)=有
- 退院時転帰 ≥ 6 (*)
- 血管造影用カテーテル(一般用)=有
- 特定集中治療室管理料(7日以内)=有

(*) 退院時転帰
1 : 治癒
2 : 軽快
3 : 寛解
4 : 不変
5 : 増悪
6 : 死亡
7 : その他死亡
9 : その他

DPC6=010060 脳梗塞 定額 vs 出来高



凡例



(*) 手術
 01: 経皮的脳血管形成術
 02: 動脈形成術、吻合術(頭蓋内動脈)
 03: 動脈血栓内膜摘出術
 04: 脳血管内手術
 動脈形成術、吻合術(その他の動脈)
 減圧開頭術
 選択的脳血栓・血栓溶解術
 頭蓋内血腫除去術(開頭して行うもの)(脳内のもの)
 97: その他手術

(*) ADL更衣
 0: 全介助
 1: 一部介助
 2: 自立
 9: 不明

DPC6=010060 脳梗塞 定額 vs 出来高

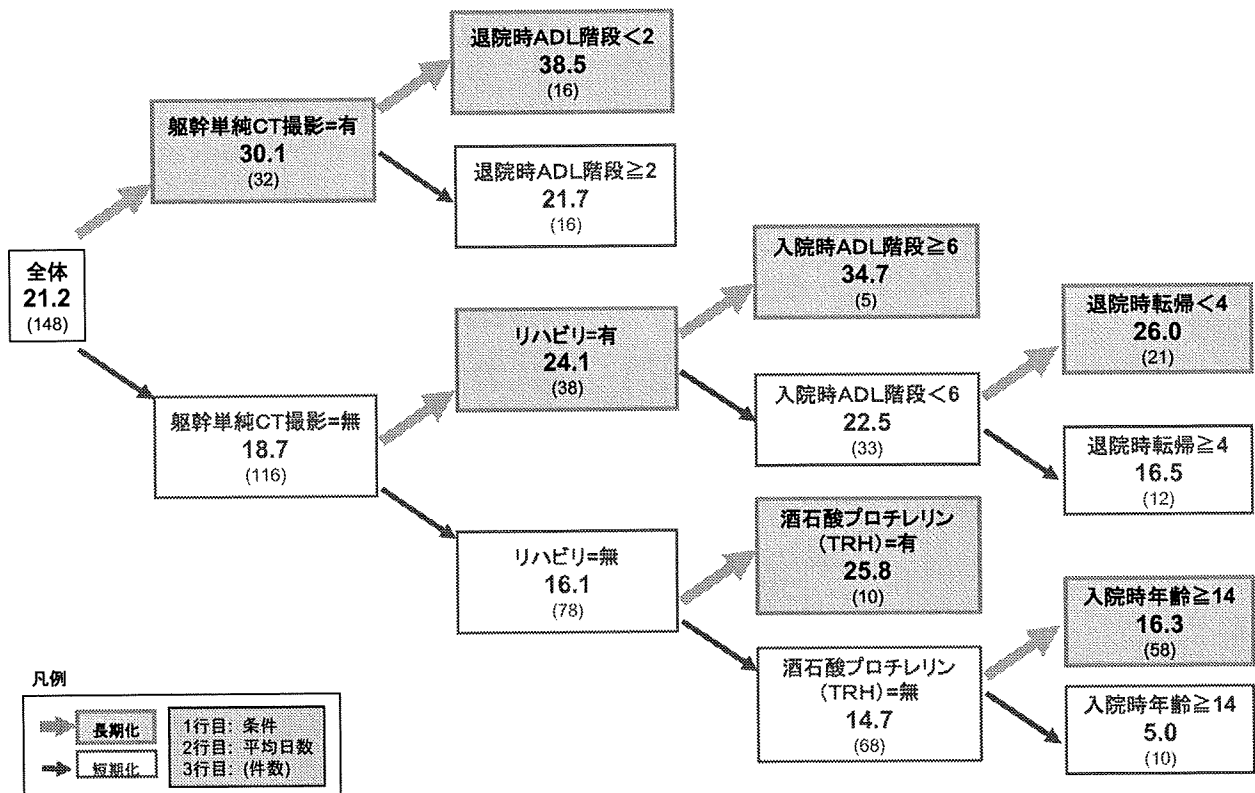
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- シングルホトンエミッションコンピュータ断層撮影=有
- 放射性医薬品(その他)=有
- 言語聴覚療法=無
- 手術=有(01以外)

DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。)

DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 在院日数 回帰木分析



DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 在院日数 回帰木分析

在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

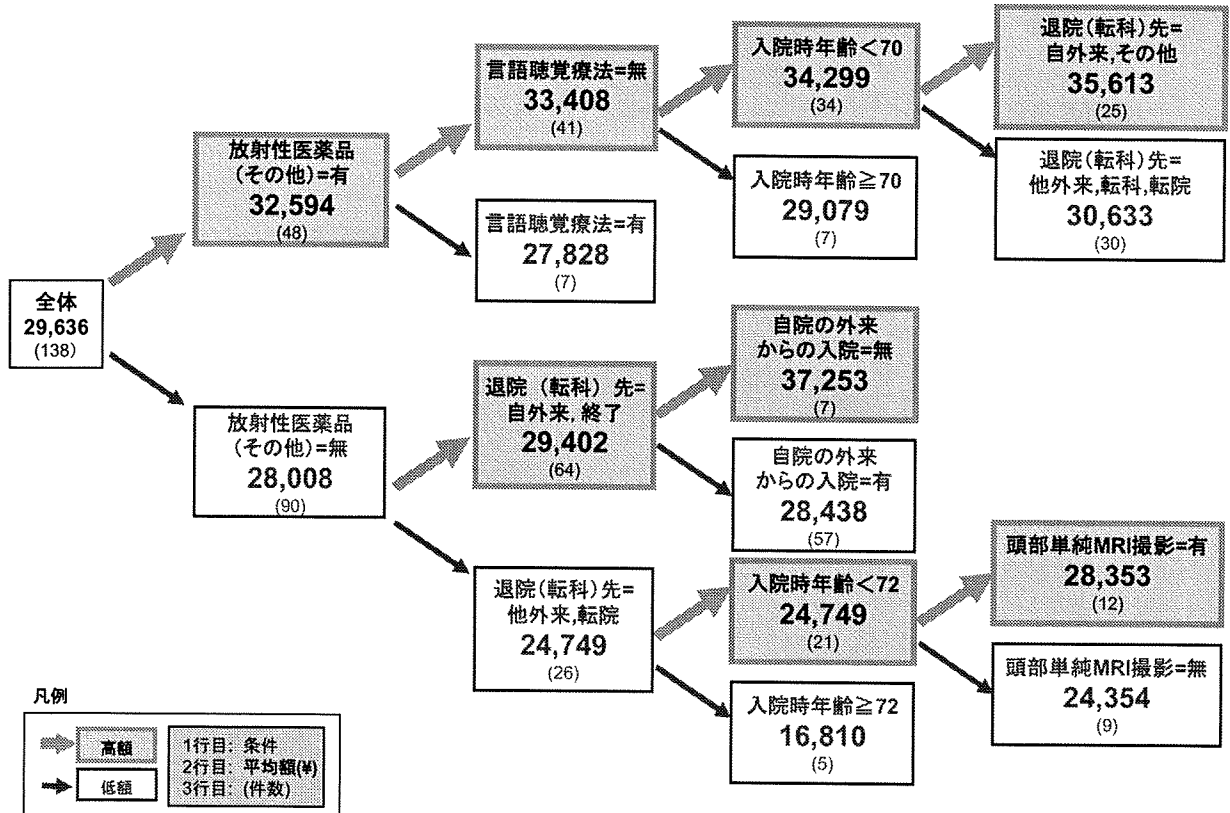
以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 躯幹単純CT撮影=有
- 退院時ADL階段<2 (*)
- リハビリ=有
- 入院時ADL階段≥6 (*)
- 酒石酸プロチレリン(TRH)=有
- 退院時転帰<4 (*)
- 入院時年齢≥14

(*) ADL階段
 0 : 全介助
 1 : 一部介助
 2 : 自立
 9 : 不明

(*) 退院時転帰
 1 : 治癒
 2 : 軽快
 3 : 寛解
 4 : 不変
 5 : 増悪
 6 : 死亡
 7 : その他死亡
 9 : その他

DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 出来高換算額/日 回帰木分析



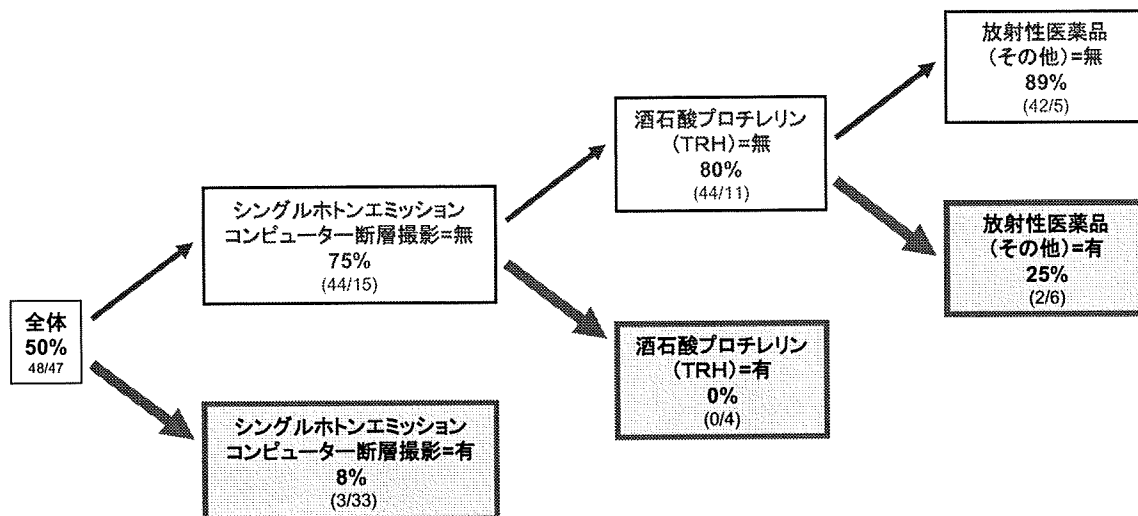
DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

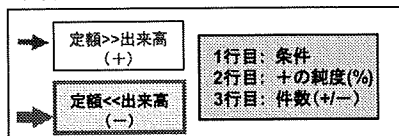
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 放射性医薬品(その他)=有
- 言語聴覚療法=無
- 退院(転科)先=自外来,終了
- 入院時年齢<70
- 自院の外来からの入院=無
- 頭部単純MRI撮影=有

DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=010220 痴呆性疾患(アルツハイマーを除く。) 定額 vs 出来高

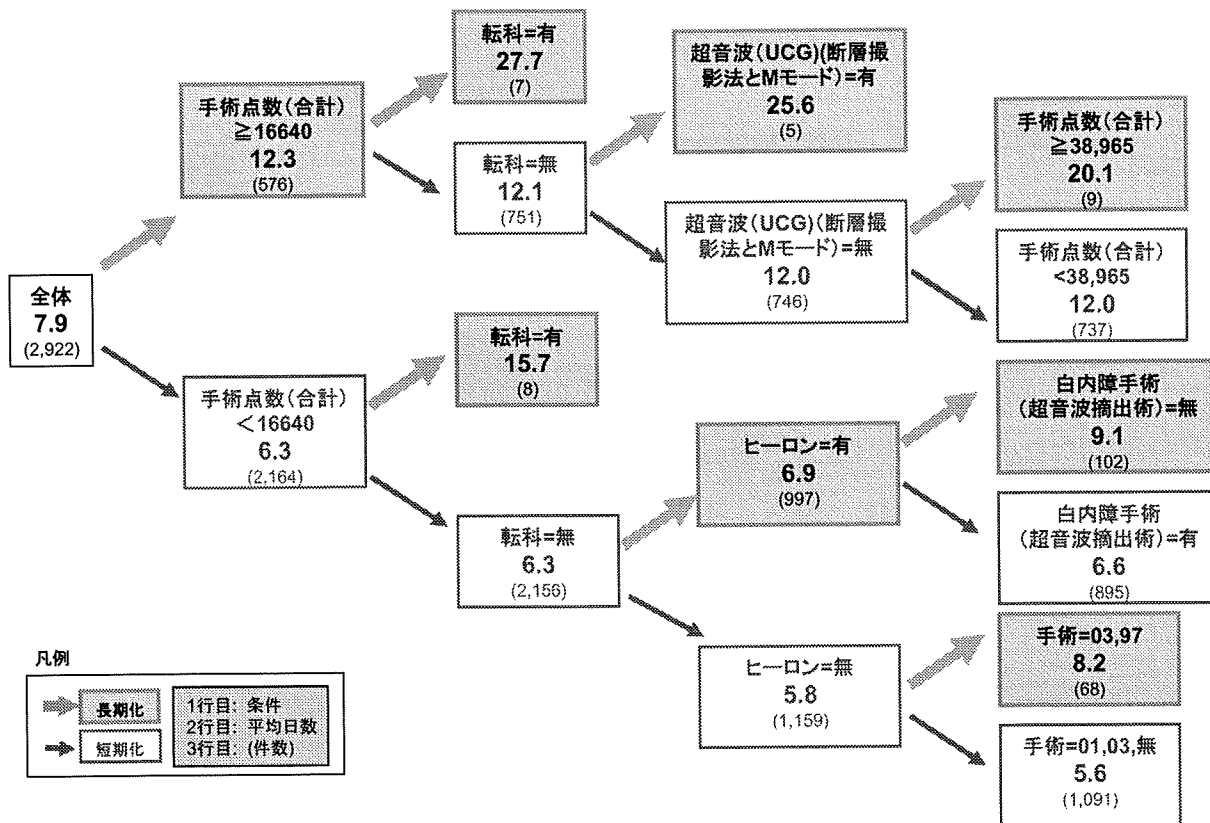
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- シングル光子エミッションコンピューター断層撮影=有
- 酒石酸プロチレリン(TRH)=有
- 放射性医薬品(その他)=有

DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患

DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 在院日数 回帰木分析



DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 在院日数 回帰木分析

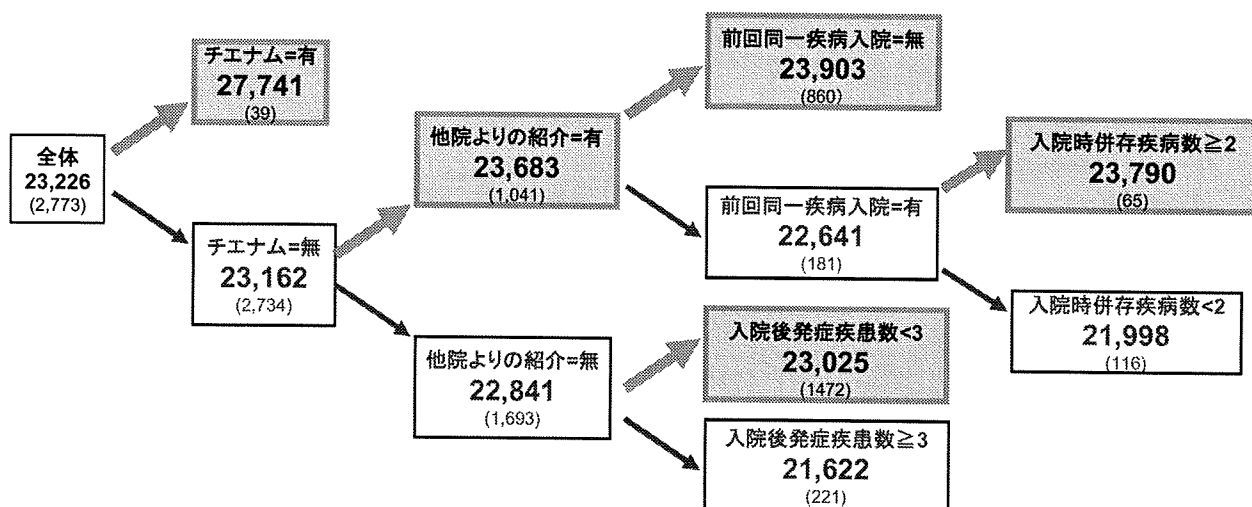
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

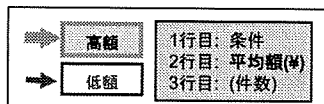
- 手術点数(合計) ≥ 16,640
- 転科=有
- 超音波(UCG)(断層撮影法とMモード)=有
- ヒーロン=有
- 白内障手術(超音波摘出術)=無
- 手術=03, 97

(*) 手術
 01,02: 白内障手術 後発切開術
 嚢内摘出術
 吸引術
 超音波摘出術
 嚢外摘出術(後嚢研磨を含む。)
 経毛様体扁平部水晶体摘出術
 03: 眼内レンズ挿入手術
 97: その他手術

DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 出来高換算額/日 回帰木分析



凡例



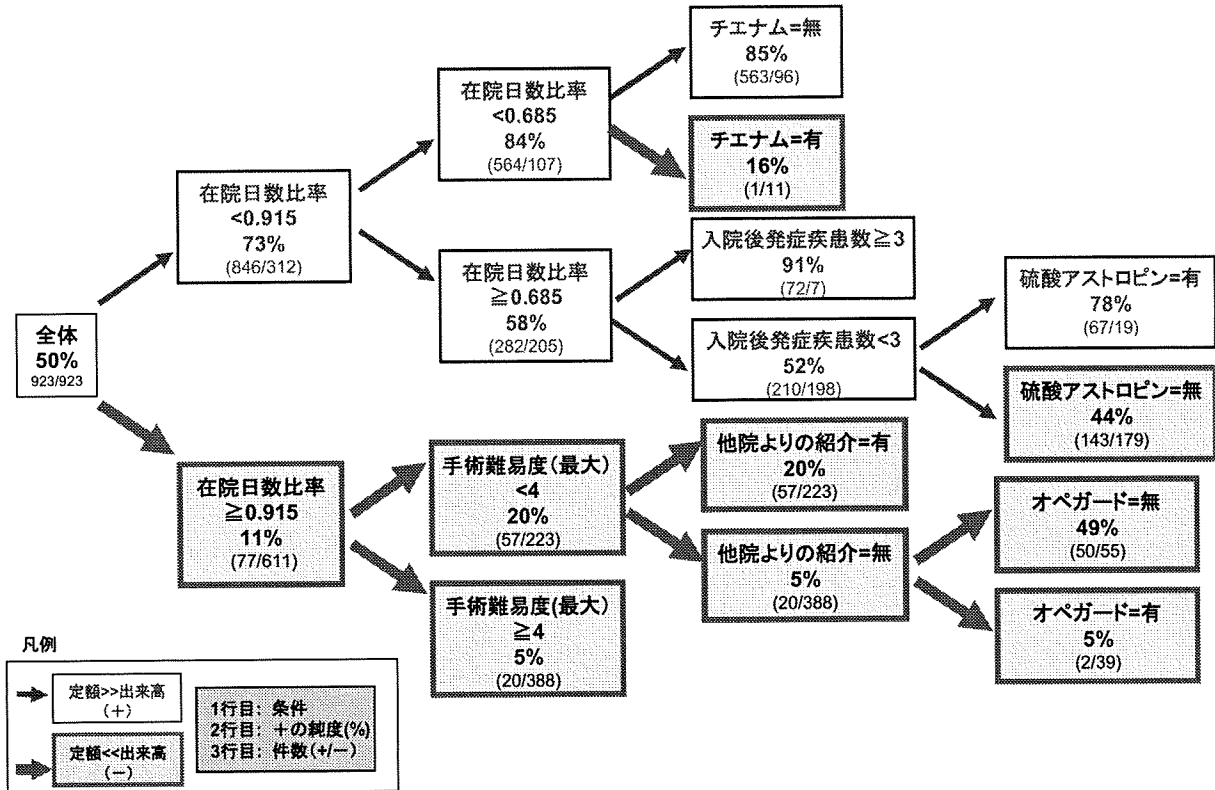
DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の变化要因

以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- チエナム=有
- 他院よりの紹介=有
- 前回同一疾病入院=有
- 入院後発症疾患数<3
- 入院時併存疾病数≥2

DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 定額 vs 出来高



DPC6=020110 白内障、水晶体の疾患 定額 vs 出来高

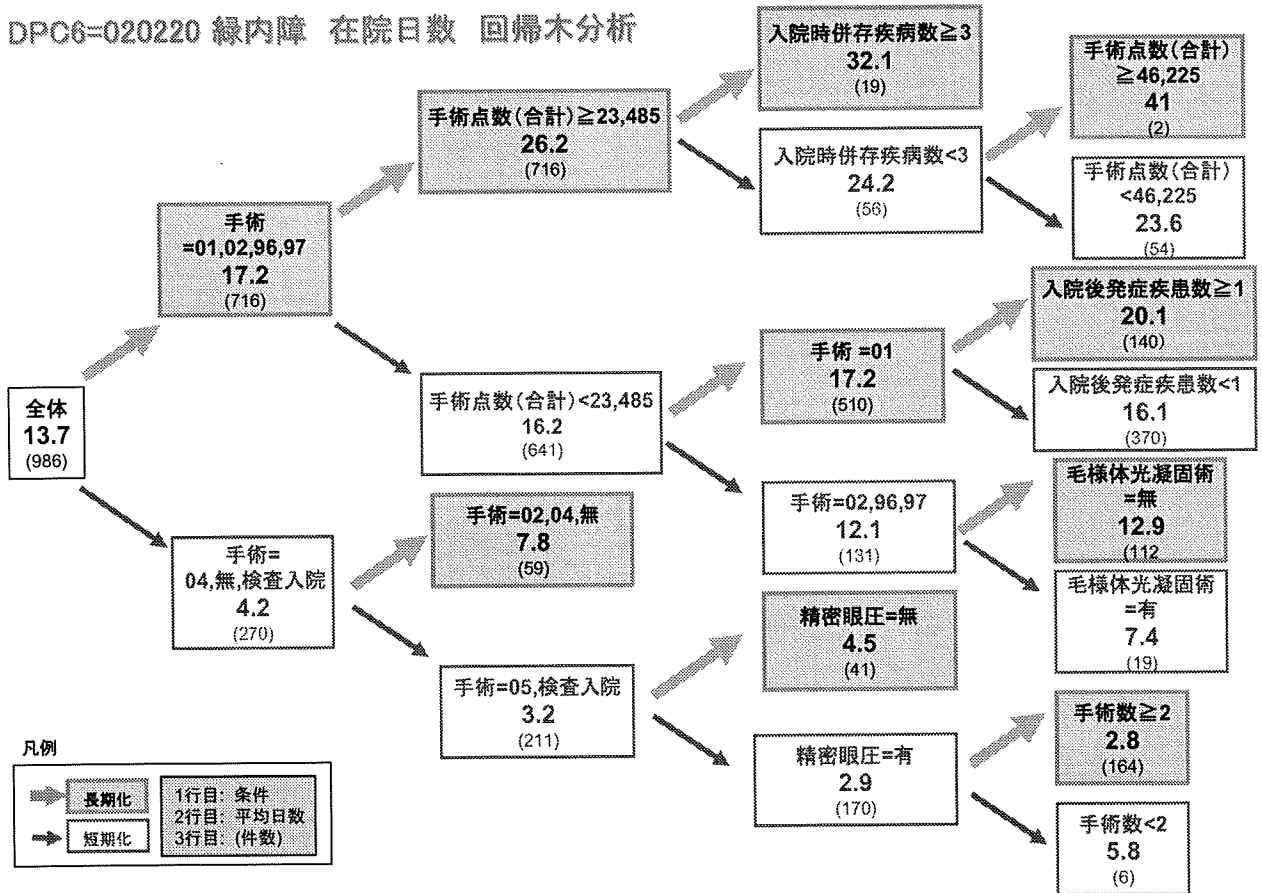
定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に定額が出来高を下回る傾向がある。

- 在院日数比率 ≥ 0.915
- 手術難易度(最大) ≥ 4
- チエナム=有
- 他院よりの紹介=有
- オベガード=有

DPC6=020220 緑内障

DPC6=020220 緑内障 在院日数 回帰木分析



DPC6=020220 緑内障 在院日数 回帰木分析

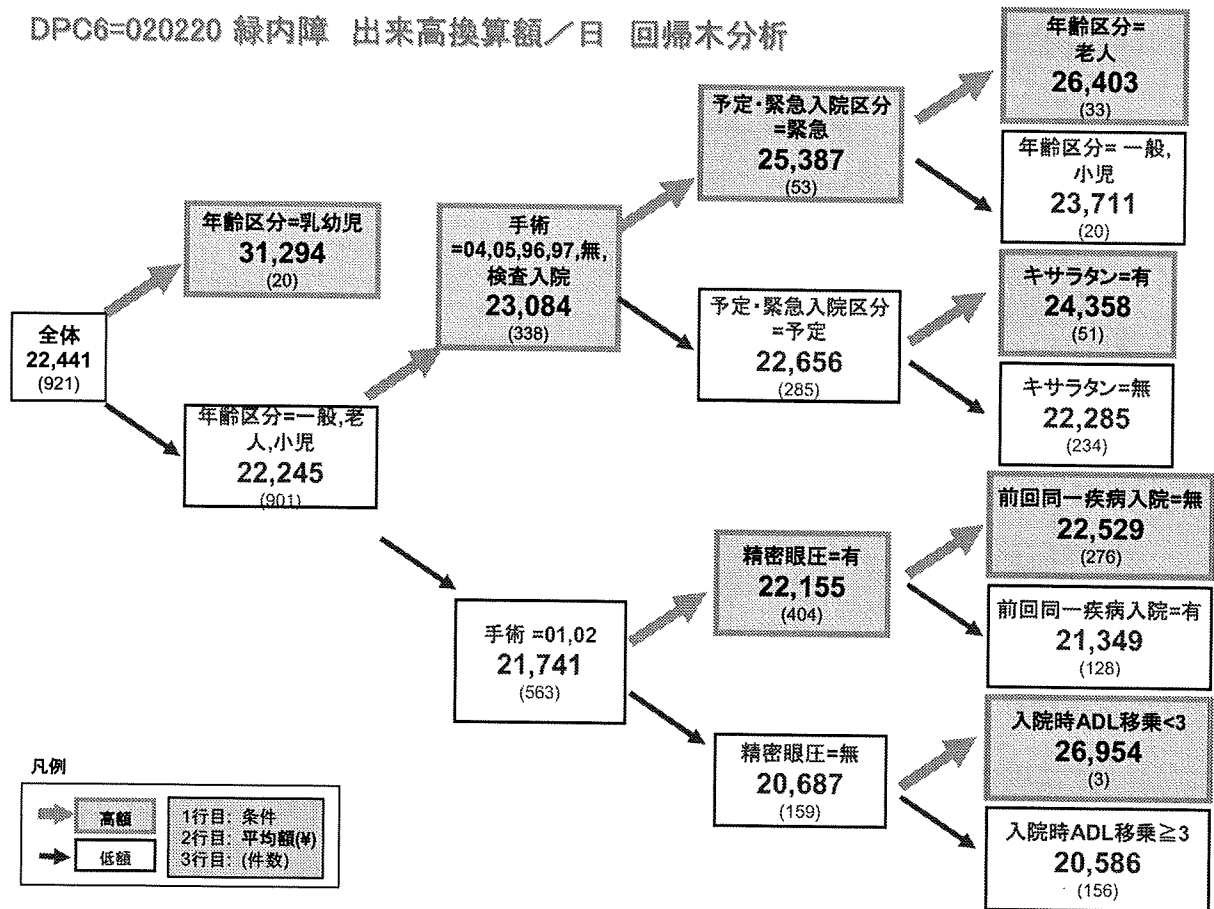
在院日数 回帰木分析から分かる在院日数の変化要因

以下の要因によって在院日数が長くなる傾向がある。

- 手術=01,02,96,97
- 手術点数(合計) ≥23,485
- 入院時併存疾病数 ≥3
- 精密眼圧=無
- 入院後発症疾患数 ≥1
- 毛様体光凝固術=無
- 手術数 ≥2

- (*) 手術
- 01: 緑内障手術 線維柱帯切断術、線維柱帯切除術、経毛様体扁平部濾過手術
 - 02: 緑内障手術 洞切開術(シュレム管開放術)
 - 03: 緑内障手術 隅角切開術、隅角穿刺術
 - 04: 緑内障手術 虹彩切除術、毛様体ジアテルミー
 - 05: 虹彩光凝固術
 - 96: 義眼台包埋術
 - 眼球内容除去術
 - 眼球摘出術
 - 瞳孔形成術
 - 虹彩離断術
 - 光学的虹彩切除術
 - 隅角光凝固術
 - 毛様体冷凍凝固術
 - 緑内障手術 毛様体剥離術、虹彩装置術、円鋸術、シェイ手術
 - 毛様体光凝固術
 - 97: その他手術

DPC6=020220 緑内障 出来高換算額/日 回帰木分析



DPC6=020220 緑内障 出来高換算額/日 回帰木分析

出来高換算額/日 回帰木分析から分かる出来高額の変化要因

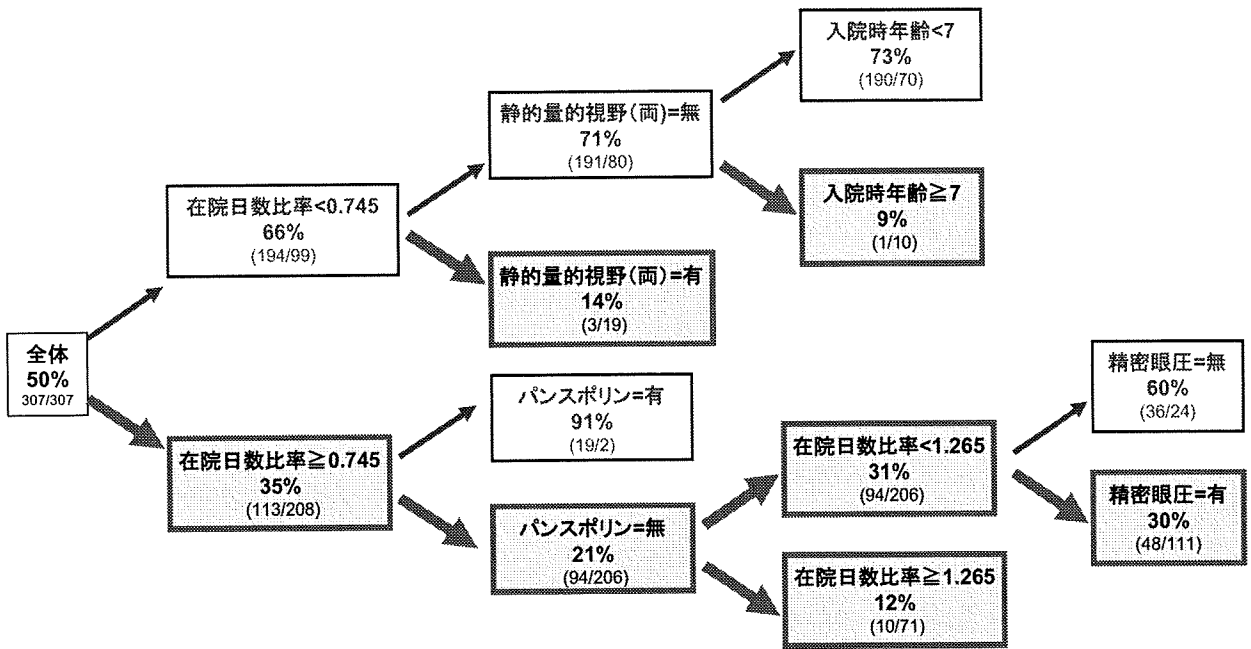
以下の場合に1日あたりの出来高換算額(包括対象部分)が高くなる傾向がある。

- 年齢区分=乳幼児
- 手術=04,05,96,97,無,検査入院
- 予定・緊急入院区分=緊急
- 精密眼圧=有
- キサラタン=有
- 前回同一疾病入院=無
- 入院時ADL移乗<3

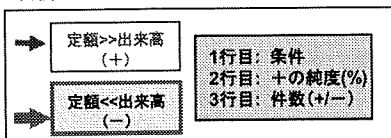
(*) ADL移乗
 0: 全介助
 1: 一部介助
 2: 自立
 9: 不明

(*) 手術
 01: 緑内障手術 線維柱帯切断術、線維柱帯切除術、経毛様体扁平部濾過手術
 02: 緑内障手術 洞切開術(シュレム管開放術)
 03: 緑内障手術 隅角切開術、隅角穿刺術
 04: 緑内障手術 虹彩切除術、毛様体ジアテルミー
 05: 虹彩光凝固術
 96: 義眼台包埋術
 眼球内容除去術
 眼球摘出術
 瞳孔形成術
 虹彩離断術
 光学的虹彩切除術
 隅角光凝固術
 毛様体冷凍凝固術
 緑内障手術 毛様体剥離術、虹彩装置術、円錐術、シェイ手術
 毛様体光凝固術
 97: その他手術

DPC6=020220 緑内障 定額 vs 出来高



凡例



DPC6=020220 緑内障 定額 vs 出来高

定額/出来高ギャップ分析から分かる問題点

以下の条件の下では、特に顕著に 定額が出来高を下回る傾向がある。

- 静的量的視野(両)=有
- パンスポリン=無
- 入院時年齢≥7
- 在院日数比率≥1.265

DPC6=030250 睡眠時無呼吸